

第 65 期

第 2 四半期決算説明資料

（ 自 2019 年 10 月 1 日
至 2020 年 3 月 31 日 ）

株式会社 マサル

1. 2020年9月期 第2四半期の概況

(1) 業績の概況

当第2四半期連結累計期間の建築業界は、建築費の高騰や労働者不足の懸念が高まり、工期の延長や計画の見直しなどにより、全国の建築物着工床面積が前年比約7.9%減少しました。首都圏では労務が逼迫する中、東京五輪関連施設や大型再開発が相次いで竣工を迎え、仕上げ工事が最盛期となりました。

第3四半期以降につきましても、建築業界全体では、東京五輪関連施設の建設投資に一区切りがついた後も都心部の再開発案件、物流拠点等への中長期的な需要を背景に手持ち工事高は一定水準で維持されると予想されておりましたが、新型コロナウイルスの世界的感染拡大に伴う世界経済の下振れ懸念から、今後の国内建築投資も影響を受ける可能性があり、先行き不透明な状況が続くと想定しております。

このような経営環境の中、当社グループは中期経営計画（2018年10月～2021年9月）の方針「成長（事業の拡大・顧客の拡大）」のもと、2年目となる今年度は「攻める」を方針として掲げ、以下の施策に取り組み業容の拡大、業績の向上を図ってまいりました。

当第2四半期連結累計期間は、以下の施策に取り組んでまいりました。

[営業力強化]

- ・新規受注活動推進体制の構築
- ・元請ビジネスの強化と株式会社塩谷商会との営業連携強化
- ・首都圏マーケットの開発を目指す神奈川拠点設置計画の推進

[組織力強化]

- ・工事の繁閑に柔軟に対応できる組織体制の構築
- ・監理技術者増員を目指した人材育成

[差別化推進]

- ・品質向上を目指した社員個々人の技術力強化
- ・工事の安全確保を目指した技術開発

[働き方改革による生産性向上]

- ・IT装備の整備（テレワーク可能なコミュニケーションツールの整備等）

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、受注高につきましては、大型工事案件が端境期に入ったことから38億59百万円（前年同四半期比9.4%減）となりました。売上高につきましては、前連結会計年度からの工事繰越高が高水準であったことに加え、追加工事が増加したことから57億55百万円（前年同四半期比10.0%増）となりました。利益につきましては、売上増加に伴い営業利益率が改善し、営業利益は4億78百万円（前年同四半期比24.0%増）、経常利益は4億84百万円（前年同四半期比24.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億31百万円（前年同四半期比19.1%増）となりました。

事業の種類別セグメントの経営成績は次のとおりであります。

	建設工事業	設備工事業	全社合計
受注高 (百万円)	3,584	274	3,859
売上高 (百万円)	5,526	262	5,755
セグメント利益 (百万円)	476	2	478

(注) 各セグメントの主要な事業内容は以下のとおりであります。

建設工事業…新築防水工事、改修工事、直接受注工事

設備工事業…空調・冷暖房・給排水等の設備工事

なお、当社グループは、通常の事業の形態として毎期3月に完成する工事の割合が大きいため、通期の売上高に比べ、第2四半期連結会計期間の売上高が大きくなっております。

(2) 会社に対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について、重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大による事業への影響については、今後も引き続き注視してまいります。

(3) 設備投資の状況

当第2四半期連結累計期間においては、主要な設備に重要な異動はありません。

(4) 資金調達の状況

当第2四半期連結累計期間においては、特別な資金調達はおこなっておりません。

(5) 財産及び損益の状況の推移

企業集団の財産及び損益の状況

区 分	期 別	第63期 第2四半期	第64期 第2四半期	第65期 第2四半期
売上高 (百万円)		4,653	5,231	5,755
経常利益 (百万円)		307	390	484
親会社株主に帰属する四半期純利益 (百万円)		239	278	331
四半期包括利益 (百万円)		218	276	306
1株当たり四半期純利益金額 (円)		274.16	322.45	382.92
純資産 (百万円)		3,562	3,784	4,063
総資産 (百万円)		6,836	8,243	8,991

2. 会社の概況（2020年3月31日現在）

(1) 主要な事業内容

- ① 新築防水工事
- ② 改修工事
- ③ 直接受注工事
- ④ 空調・冷暖房・給排水等の設備工事

(2) 主要な営業所

本 社 東京都江東区佐賀一丁目9番14号
第1営業部（東京都江東区）
第2営業部（東京都江東区）
第3営業部（東京都江東区）
たてもの改装部（東京都江東区）
営業所 千葉営業所（千葉縣市川市）
㈱塩谷商会 東京都大田区蒲田三丁目23番7号

(3) 株式の状況

- ① 発行可能株式総数 3,460,000株
- ② 発行済株式の総数（普通株式） 901,151株
- ③ 株主数 701名
- ④ 大株主（上位10名）

2020年3月31日現在

株 主 名	所有株式数（千株）	持株比率（%）
株 式 会 社 操 上	145	16.69
株 式 会 社 荊 谷	94	10.92
化研マテリアル株式会社	43	4.96
マサル協力企業持株会	38	4.41
株式会社みずほ銀行	27	3.19
荊 谷 純	26	3.05
野口興産株式会社	26	3.04
日本生命保険相互会社	25	2.97
菅野産業株式会社	22	2.53
マサル従業員持株会	21	2.42
計	470	54.19

(注) 上記のほか、自己株式が32千株あります。

四半期連結貸借対照表

(2020年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	7,324,278	流動負債	4,585,073
現金及び預金	854,207	支払手形・工事未払金	968,553
受取手形・完成工事未収入金	2,460,278	電子記録債務	358,106
電子記録債権	511,364	短期借入金	75,000
未成工事支出金	3,207,399	1年内返済予定の長期借入金	378,434
材料貯蔵品	6,277	未払法人税等	130,529
その他	286,185	未成工事受入金	2,363,666
貸倒引当金	△1,433	賞与引当金	55,009
固定資産	1,667,307	完成工事補償引当金	10,364
有形固定資産	1,184,569	工事損失引当金	31,245
建物(純額)	727,920	その他	214,164
土地	447,020	固定負債	342,973
その他(純額)	9,628	長期借入金	301,353
無形固定資産	44,839	その他	41,620
ソフトウェア	44,839	負債合計	4,928,046
投資その他の資産	437,897	(純資産の部)	
投資有価証券	80,716	株主資本	4,090,227
長期貸付金	12,650	資本金	885,697
その他	416,888	資本剰余金	1,262,182
貸倒引当金	△72,356	利益剰余金	2,037,262
		自己株式	△94,914
		その他包括利益累計額	△26,688
		その他有価証券評価差額金	△26,688
		純資産合計	4,063,539
資産合計	8,991,586	負債純資産合計	8,991,586

(注) 記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

〔 自 2019年10月1日
至 2020年3月31日 〕

(単位：千円)

科 目	金 額	
完 成 工 事 高		5,755,904
完 成 工 事 原 価		4,802,455
完 成 工 事 総 利 益		953,448
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		474,835
営 業 利 益		478,612
営 業 外 収 益		8,604
営 業 外 費 用		2,854
経 常 利 益		484,363
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益		484,363
法人税、住民税及び事業税	115,504	
法 人 税 等 調 整 額	37,321	152,825
四 半 期 純 利 益		331,537
親会社株主に帰属する四半期純利益		331,537

(注) 記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

四半期連結包括利益計算書

〔 自 2019年10月1日
至 2020年3月31日 〕

(単位：千円)

科 目	金 額	
四 半 期 純 利 益		331,537
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金		▲25,110
四 半 期 包 括 利 益		306,427
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益		306,427

(注) 記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

四半期連結株主資本等変動計算書

〔 自 2019年10月1日
至 2020年3月31日 〕

(単位：千円)

項 目	株 主 資 本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	885,697	1,261,600	1,831,178	△ 105,953	3,872,521
四半期連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			△ 125,453		△ 125,453
親会社株主に帰属する四半期純利益			331,537		331,537
自己株式の取得				△158	△158
自己株式の処分		582		11,197	11,780
株主資本以外の項目の四半期連結会計年度中の変動額（純額）					
四半期連結会計年度中の変動額合計	—	582	206,084	11,039	217,705
当四半期末残高	885,697	1,262,182	2,037,262	△ 94,914	4,090,227

(単位：千円)

項 目	その他包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他包括利益 累計額合計	
当期首残高	△1,578	△1,578	3,870,943
四半期連結会計年度中の変動額			
剰余金の配当			△ 125,453
親会社株主に帰属する四半期純利益			331,537
自己株式の取得			△158
自己株式の処分			11,780
株主資本以外の項目の四半期連結会計年度中の変動額（純額）	△ 25,110	△ 25,110	△ 25,110
四半期連結会計年度中の変動額合計	△ 25,110	△ 25,110	192,595
当四半期末残高	△ 26,688	△ 26,688	4,063,539

(注) 記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

〔 自 2019年10月1日
至 2020年3月31日 〕

(単位：千円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	484,363
減価償却費	16,659
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	676
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△60,527
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△77,995
完成工事補償引当金の増減額 (△は減少)	4,642
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	25,500
受取利息及び受取配当金	△381
支払利息	2,113
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,293,145
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	471,028
その他のたな卸資産の増減額 (△は増加)	2,103
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△20,171
仕入債務の増減額 (△は減少)	229,701
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	△129,463
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	9,047
その他	7,502
小計	△328,344
利息及び配当金の受取額	381
利息の支払額	△2,061
法人税等の支払額	△140,091
営業活動によるキャッシュ・フロー	△470,116
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△700
無形固定資産の取得による支出	△1,260
投資有価証券の取得による支出	△98,676
貸付金の回収による収入	△1,974
保険積立金の積立による支出	△4,075
敷金及び保証金の差入による支出	△86
投資活動によるキャッシュ・フロー	△102,824

(単位：千円)

科 目	金 額
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の増減額（△は減少）	50,000
長期借入れによる収入	200,000
長期借入金の返済による支出	△237,639
自己株式の取得による支出	△158
配当金の支払額	△125,453
財務活動によるキャッシュ・フロー	△113,250
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△686,192
現金及び現金同等物の期首残高	1,540,399
現金及び現金同等物の四半期末残高	854,207

(注) 記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。